英音法 100 のルール

INTRODUCTION		第 I 章	「英語らしい自然な音声」で話すには何が必要か？
		第 2 章	リズムとイントネーションとは？
PART1 アクセント・リズム編	第 3 章	英音法 No.1	文の中の「強いところ」と「弱いところ」を意識する：機能語と内容語
		英音法 No.2	機能語か内容語かを常に意識する：分類練習
		英音法 No.3	「句末原則」で最も目立つ箇所を特定する
		英音法 No.4	「内容語と機能語の分類 →句末原則の適用」のサイクルを徹底する
		英音法 No.5	「アクセント＝強く読む」では不十分 → 高く、長く読む
		英音法 No.6	3 レベルのアクセント：絶対軽視してはいけない「第 2 アクセント」
		英音法 No.7	単語だけでなく「フレーズ」「文」も 3 レベルのアクセントで捉える
	第 4 章	英音法 No.8	「形容詞＋名詞」の読み方
		英音法 No.9	「分詞＋名詞」の読み方
		英音法 No.10	「副詞＋形容詞」の読み方
		英音法 No.11	「動詞＋副詞」の読み方
		英音法 No.12	「動詞＋名詞」と「副詞＋副詞」の読み方
		英音法 No.13	句動詞パターン①「stand out 型」の読み方
		英音法 No.14	句動詞パターン②「put off 型」の読み方
		英音法 No.15	句動詞パターン③「come up with 型」の読み方
		英音法 No.16	句動詞パターン④「look at 型」の読み方
		英音法 No.17	句動詞パターン②「put off 型」が代名詞を伴うときの読み方
		英音法 No.18	句動詞パターン③「come up with 型」が代名詞を伴うときの読み方
		英音法 No.19	句動詞パターン④「look at 型」が代名詞を伴うときの読み方
		英音法 No.20	句動詞パターン②「put off 型」が具体的な名詞を伴うときの読み方
		英音法 No.21	句動詞パターン④「come up with 型」が具体的な名詞を伴うときの読み方
		英音法 No.22	句動詞パターン④「look at 型」が具体的な名詞を伴うときの読み方
		英音法 No.23	成句化している句動詞
		英音法 No.24	句動詞の読み分けと全体像の整理
		英音法 No.25	三連規則（Rule of Three）による除アクセント：「真ん中の要素」は揺れがあることを理解する
		英音法 No.26	第 1 アクセントの「後」に、完全な第 2 アクセントは現れない
		英音法 No.27	第 1 アクセントの後の「なんとも言えない強さのアクセント」を感じ取る練習
	第 5 章	英音法 No.28	「略語・数字」の読み方
		英音法 No.29	固有名詞の読み方：「人名」
		英音法 No.30	固有名詞の読み方：「地名」
		英音法 No.31	「地名」のアクセントルールの例外：Street のつく地名
	第 6 章	英音法 No.32	複合名詞の読み方 ― 初級 ―：「前アクセント型」
		英音法 No.33	複合名詞の読み方 ― 初級 ―：「後ろアクセント型」
		英音法 No.34	複合名詞の読み方 ― 中級 ―：「前アクセント型」複合名詞の 7 つのルール
		英音法 No.35	複合名詞の読み方 ― 中級 ―：「後ろアクセント型」複合名詞の 5 つのルール
		英音法 No.36	複合名詞の読み方 ― 上級 ―：意味の違いをアクセントの違いで区別するペア①
		英音法 No.37	複合名詞の読み方 ― 上級 ―：意味の違いをアクセントの違いで区別するペア②
	第 7 章	英音法 No.38	名詞の読み方
		英音法 No.39	呼びかけ語の読み方
		英音法 No.40	代名詞の読み方 1：「人称代名詞」と「所有代名詞」
		英音法 No.41	代名詞の読み方 2：「再帰代名詞」
		英音法 No.42	one の読み方
		英音法 No.43	some と any の読み方
		英音法 No.44	副詞の読み方
		英音法 No.45	動詞の読み方
		英音法 No.46	be 動詞の読み方
		英音法 No.47	助動詞の読み方 1
		英音法 No.48	助動詞の読み方 2
		英音法 No.49	前置詞の読み方
		英音法 No.50	名詞優先ルール：「名詞」は他の品詞より核になりやすい
		英音法 No.51	出来事文の読み方
	第 8 章	英音法 No.52	旧情報の「除アクセント」①：「繰り返された内容」は弱く
		英音法 No.53	旧情報の「除アクセント」②：「すでに話題になっている内容の言い換え」は弱く
		英音法 No.54	旧情報の「除アクセント」③：「共通知識」や「簡単に予測できること」は弱く
		英音法 No.55	対比と強調による「除アクセント」
		英音法 No.56	対比によるアクセント移動
		英音法 No.57	リズムのパターンによる「除アクセント」①：交替リズムとアクセント衝突
		英音法 No.58	リズムのパターンによる「除アクセント」②：「頭とおしりルール」
		英音法 No.59	理論的なアクセント配置 vs 崩れた形
PART2 イントネーション編	第 9 章	英音法 No.60	イントネーションの基本 4 トーン
		英音法 No.61	下降調（fall）の基礎練習
		英音法 No.62	下降調は声を自分の声域の最低レベルまでしっかりと下げる
		英音法 No.63	上昇調（rise）の基礎練習
		英音法 No.64	下降上昇調（fall-rise）の基礎練習
		英音法 No.65	平坦調（level）の基礎練習
		英音法 No.66	WASP2 でピッチ変化は確認できる
		英音法 No.67	様々な語を基本 4 トーンで読む練習
		英音法 No.68	ランダムな順番で並んでいる 4 トーンを読み分ける練習
		英音法 No.69	基本 4 トーンの聞き分け練習
		英音法 No.70	イントネーション決定の 3 ステップ
		英音法 No.71	イントネーション決定の 3 ステップの練習
	第 10 章	英音法 No.72	様々な文タイプと下降調①：基本の意味・用法
		英音法 No.73	様々な文タイプと下降調②：基本の意味・用法
		英音法 No.74	様々な文タイプと上昇調①：基本の意味・用法
		英音法 No.75	様々な文タイプと上昇調②：基本の意味・用法
		英音法 No.76	様々な文タイプと上昇調③：基本の意味・用法
		英音法 No.77	様々な文タイプと上昇調④：基本の意味・用法
		英音法 No.78	様々な文タイプと下降上昇調①：基本の意味・用法
		英音法 No.79	様々な文タイプと下降上昇調②：基本の意味・用法
		英音法 No.80	様々な文タイプと下降上昇調③：基本の意味・用法
		英音法 No.81	様々な文タイプと平坦調：基本の意味・用法
		英音法 No.82	文の途中のイントネーション
		英音法 No.83	「下降上昇調」と「上昇調」で「話題化」をする
		英音法 No.84	「メイン＋サブ」を表す「下降調＋上昇調」
	第 11 章	英音法 No.85	「上昇調」の尾部のイントネーション①
		英音法 No.86	「上昇調」の尾部のイントネーション②
		英音法 No.87	「上昇調」の尾部のイントネーション③
		英音法 No.88	「下降調」の尾部のイントネーション①
		英音法 No.89	「下降調」の尾部のイントネーション②
		英音法 No.90	「下降調」の尾部のイントネーション③
PART3 実例で学ぶリズム・イントネーション	第 12 章	英音法 No.91	核のトーンの聞き分け・読み分け①
		英音法 No.92	核のトーンの聞き分け・読み分け②
		英音法 No.93	核のトーンの聞き分け・読み分け③
		英音法 No.94	核のトーンの聞き分け・読み分け④
PART4 イントネーションの発展知識	第 13 章	英音法 No.95	「下降調」の発展知識①：「低下降調」「高下降調」
		英音法 No.96	「下降調」の発展知識②：「上昇下降調」
		英音法 No.97	「上昇調」の発展知識①：「低上昇調」「高上昇調」
		英音法 No.98	「上昇調」の発展知識②：「低上昇調」「高上昇調」
		英音法 No.99	部分下降調
		英音法 No.100	8 つのトーンの読み分け

英音法 No. 024

句動詞の読み分けと全体像の整理

INSTRUCTION

- 句動詞の仕上げです。ここまで学んだ知識を総動員し、句動詞の4パターンのどれになるかに注意しながら以下のフレーズを読み分けましょう。
- 「第1」「第2」「弱」の3レベルのアクセントを意識して読んでみてください。



POINT

- 「自動詞用法」：パターン①「stand out型」
- 「他動詞用法」：パターン②③④「put off型」「come up with型」「look at型」

他動詞用法は「語順」と、目的語が「代名詞」か「名詞」かに注意！

例題 024

1	look at John	Johnを見る
2	look up the word	その語の意味を調べる
3	look the word up	その語の意味を調べる
4	look it up	それの意味を調べる
5	look up to her	彼女を尊敬する
6	look forward to the party	パーティーを楽しみにする
7	look for the bag	バッグを探す
8	look down on him	彼を見下す
9	put off the meeting	会議を延期する
10	put the meeting off	会議を延期する
11	put it off	それを延期する
12	put on your coat	コートを着る
13	put your coat on	コートを着る
14	put up with	～を我慢する
15	put up with the noise	騒音を我慢する

回答

1 look at JOHN
❷ • ❶

2 look up the WORD
❷ ❷ • ❶

3 look the WORD up
❷ • ❶ •

4 look it UP
❷ • ❶

5 look UP to her
❷ ❶ • •

6 look forward to the PARty
❷ ❷ • • • ❶ •

7 look for the BAG
❷ • • ❶

8 look DOWN on him
❷ ❶ • •

9 put off the MEETing
❷ ❷ • ❶ •

10 put the MEETing off
❷ • ❶ • •

11 put it OFF
❷ • ❶

12 put on your COAT
❷ ❷ • ❶

13 put your COAT on
❷ • ❶ •

14 put UP with
❷ ❶ •

15 put up with the NOISE
❷ ❷ • • ❶

音法24の解説

ここまで学んだことを以下にまとめますので、句動詞の全体像を整理しましょう。最初は読み分けが難しく感じるかもしれませんが、練習すればほぼ無意識に読み分けることができるようになります。「自動化」されるまで練習しましょう。

自動詞用法

パターン①「stand out型」（動詞＋副詞）

例	stand out, let upなど
基本形	stand（動詞） OUT（副詞）

他動詞用法

パターン②「put off型」（動詞＋副詞）

例	put off, carry outなど
基本形	put（動詞） OFF（副詞）
代名詞を伴うときの語順	put（動詞） it（代名詞） OFF（副詞）
名詞を伴うときの語順	put（動詞） off（副詞） the MEETing（名詞） put（動詞） the MEETing（名詞） off（副詞）

パターン③「come up with型」（動詞＋副詞＋前置詞）

例	come up with、put up withなど
基本形	come（動詞） UP（副詞） with（前置詞）
代名詞を伴うときの語順	come（動詞） UP（副詞） with（前置詞） it（代名詞）
名詞を伴うときの語順	come（動詞） up（副詞） with（前置詞） a PLAN（名詞）

パターン④「look at型」（動詞＋前置詞）

例	look at, wait forなど
基本形	LOOK（動詞） at（前置詞）
代名詞を伴うときの語順	LOOK（動詞） at（前置詞） it（代名詞）
名詞を伴うときの語順	look（動詞） at（前置詞） JOHN（名詞）

句動詞の発展知識1：発話スピードや文全体のリズムの影響

前述もしましたが特に「put off型」「come up with型」の句動詞では、「動詞」と「副詞」のアクセントで「第2」と「弱」の揺れがあります。このことについて少し補足します。

come, get, put, go, takeなどの「1音節でありふれた動詞」を伴う句動詞は、特に速い発話だと「動詞」が「弱」程度で読まれることがしばしばあります。よって、丁寧に読むときは、

1 put off the MEETing
❷ ❷ • ❶ •

となるフレーズが、速い発話などでputが「弱」程度になり以下2のように読まれます。

英音法 No. 026

第1アクセントの「後」に、完全な第2アクセントは現れない

INSTRUCTION

○ 例題の図は、辞書のアクセント表記を比較したものです。「第2アクセントの位置」の観点から、辞書のアクセントの解釈が異なっている理由を説明しましょう。



POINT

- 第1アクセントの「後」に、完全な第2アクセントは現れない。
- baseballの -ballは「なんともいえない強さ」のアクセント→「弱アクセント」でOK。

例題 026

1 baseball 野球
2 high school 高校
3 territory 領土、領域
4 in the long run 長い目で見れば

1

BASEball
❶ ❷
↑
第2アクセント
『ジーニアス英和辞典第6版』

BASEball
❶ ●
↑
弱アクセント
『Oxford Advanced Learner's Dictionary 10th edition』

2

HIGH school
❶ ❷
↑
第2アクセント
『ジーニアス英和辞典第6版』

HIGH school
❶ ●
↑
弱アクセント
『Oxford Advanced Learner's Dictionary 10th edition』

3

TERritory
❶ ●❷ ●
↑
第2アクセント
『ジーニアス英和辞典第6版』

TERritory
❶ ●●●
↑
弱アクセント
『Oxford Advanced Learner's Dictionary 10th edition』

4

in the LONG run
● ● ❶ ❷
↑
第2アクセント
『ジーニアス英和辞典第6版』

in the LONG run
● ● ❶ ●
↑
弱アクセント
『Oxford Advanced Learner's Dictionary 10th edition』

＊各辞書のアクセント表記を本書の黒丸表記に変換しています。

音法26の解説

音法6でcontributionなどの「第2アクセントは絶対に軽視してはいけない」ということをお伝えし、第2アクセントをはっきりと目立たせて読む練習をしました。次に、音法25ではnot so badなどを例に、soが「第2アクセント」と辞書に書かれていてもRule of Threeにより「何ともいえない強さ」で読まれることがあることを学びました。

実は、「第2アクセント」と辞書に書かれていても強いか弱いかがはっきりと判断できないような「何ともいえない強さ」で読まれるケースがもう1つあります。それはbaseballの -ballのように、「第1アクセントの後にある第2アクセント」です。以下がポイントです。



- 1つの語やフレーズ、またはイントネーション句の中で、**第2アクセントは第1アクセントの「前」にしか現れない。**
- つまり、**第1アクセントの「後」に完全な第2アクセントは現れない。**

「そんなはずはない」と感じる人もいるかもしれませんが、『Oxford Advanced Learner's Dictionary 10th edition』ではbaseballの -ball、high schoolのschool、territoryの -to-、in the long runのrunなどで一貫して「第2アクセント」の記号をつけていません。つまり、-ball, school, -to-, runの部分に「強いアクセント」はないということが分かります。

英音法 No. 030

固有名詞の読み方：「地名」

INSTRUCTION

- 「地名」をアクセントに注意して読んでみましょう。
- 「最後の要素」を最も目立たせることを意識して読みましょう。



POINT

▸「地名」で最も目立つのは「最後の要素」。

例題 030

1 New YORK ❷ ❶ ニューヨーク

2 Times SQUARE ❷ ❶ タイムズ・スクエア

3 Central PARK ❷ • ❶ セントラル・パーク

4 Brooklyn BRIDGE ❷ • ❶ ブルックリン橋

5 Fifth AVenue ❷ ❶ •• 5番街

6 Heathrow AIRport ❷ • ❶ • ヒースロー空港

7 New York STATE ❷ • (❷) ❶ ニューヨーク州

8 New York CITy ❷ • (❷) ❶• ニューヨーク市

9 New South WALES ❷ • (❷) ❶ ニューサウスウェールズ

10 Madison Square GARden ❷ •• • (❷) ❶ • マディソン・スクエア・ガーデン

音法30の解説

次に「地名」などの「場所に関する固有名詞」の読み方を練習しましょう。「地名」は、**「最後の要素」が最も目立って読まれる**のが原則です。これも句末原則です。

これは、「地名」「地域・エリア名」「施設名」「橋、トンネルなどの建造物名」「公園・広場名」「学校名」「道路」などを含みます。海外に旅行・滞在するときや海外のことを話題にするときに使われることが多い項目ですので、しっかりマスターしておきましょう。日常で聞くことの多い2つまたは3つの要素から成る「地名」の読み方を見ていきます。

2語の「地名」のアクセント

「要素1」が「第2アクセント」で、「要素2」が「第1アクセント」で読まれます。

要素1	要素2	New	YORK
↑	↑	↑	↑
第2アクセント	第1アクセント	第2アクセント	第1アクセント
❷	❶	❷	❶

英音法
No. 099

部分下降調

INSTRUCTION

○ 次の単語やフレーズを「部分下降調」で読んでみましょう。



POINT

- 「部分下降調」は「挨拶」「お決まりのこと」「繰り返し」「ルーティーン」などのニュアンスを含み、「決まり文句」などのときに特によく使われるトーン。
- 「遠くの人に呼びかける」ときにもよく使われる。

例題

基本練習

1 JOHN.
2 YES.
3 NO.
4 PEACH.
5 BETty.
6 BEAUtiful.

挨拶や決まり文句など

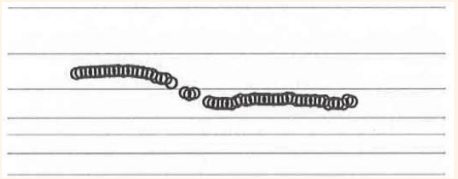
7 Good NIGHT. おやすみ。
8 See you LATer. またね。
9 You know what they SAY,... ほらよく言うじゃないか…
10 Here comes our TRAIN. 電車が来たよ。

遠くの人に呼びかけるとき

11 MiCHELLE! Dinner's READy! Michelle、夕飯ができたよ。
12 I'm COMing! 今いくよ！

音法99の解説

次に、「部分下降調」というトーンを学びます。「部分下降調」は、下降し始めた後にすぐ平坦になるか、中途半端な下降のままで終わるトーンで、アメリカ英語で非常によく聞くイントネーションです。以下はJohnを「部分下降調」で読んでWASP2でピッチ変化を可視化したものですが、このようなピッチの動きになります。山に登った人が「ヤッホー」と叫ぶことがありますが、日本語で「ヤッホー」と言うときのイントネーションは「部分下降調」に似ているかもしれません。





まずはJohnの「部分下降調」を実際に聞いてみましょう。行間表記では以下のようなイメージになります。なお「部分下降調」の声の高さですが、出だしは声域の比較的高いところから始まり、中くらいの高さで終わることが多いです。しかし、声域の中ほどのところから始まり、低い高さで終わることもあります。

Jo hn